

■主な財務用語解説

・**自主財源**=市税や使用料、手数料など、地方自治体が自主的に収入しうる財源をいい、自主財源の割合が高いほど、財政が安定しているといえます。

・**地方交付税**=地方公共団体間の財政格差をなくし、どの団体においても一定の行政サービスが提供できるよう、国が地方公共団体に対して交付するものです。

・**市債**=市が公共施設の整備など多額の費用を必要とする場合に、国や金融機関などから調達する長期的な借入金

・**義務的経費**=人件費（職員給与など）や扶助費（児童扶養手当、生活保護費など）、公債費（借金の返済）といった、支出することが制度的に義務付けられている経費

・**投資的経費**=道路などのインフラ整備や公共施設の整備などに要する経費

は、対前年度比で3、658万円、率にして0・6％の増となっています。このうち、人件費は、消防団員の報酬の増により0・8％の増、扶助費は、生活保護受給者数の増により0・5％の増、公債費は、0・4％の増となっています。

投資的経費については、対前年度比で5億3、171万9千円、率にして30・5％の減となっています。これは、普通建設事業費の増が主な要因となっています。

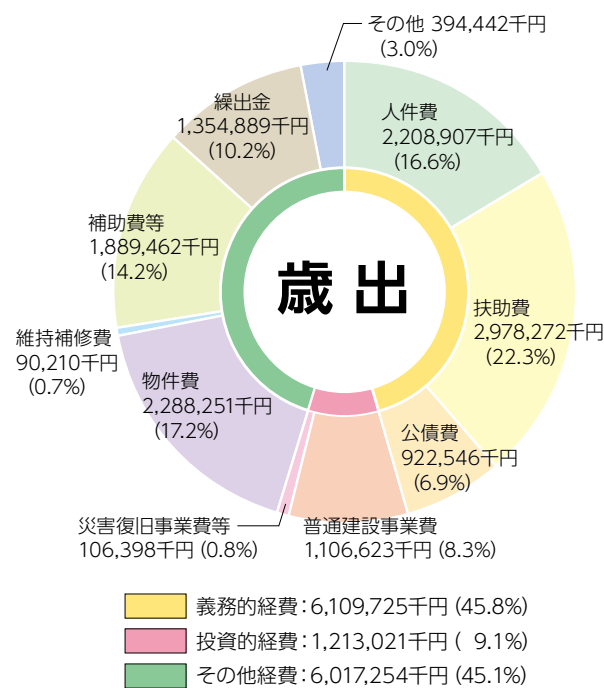
義務的経費については、人件費は、対前年度比で5億6、016万5千円、率にして32・4％の増、補助費等は、対前年度比で4億2、351万7千円、率にして28・9％の増となっています。これは、がんばつどふるさと応援基金推進事業の返礼品の増が主な要因となっています。

うち、串間市中心市街地まちづくり事業の減が主な要因となっています。その他の経費については、物件費は、対前年度比で5億6、016万5千円、率にして32・4％の増、補助費等は、対前年度比で4億2、351万7千円、率にして28・9％の増となっています。これは、がんばつどふるさと応援基金推進事業の返礼品の増が主な要因となっています。

歳出

は、対前年度比で3、658万円、率にして0・6％の増となっています。このうち、人件費は、消防団員の報酬の増により0・8％の増、扶助費は、生活保護受給者数の増により0・5％の増、公債費は、0・4％の増となっています。

義務的経費については、人件費は、対前年度比で5億6、016万5千円、率にして32・4％の増、補助費等は、対前年度比で4億2、351万7千円、率にして28・9％の増となっています。これは、がんばつどふるさと応援基金推進事業の返礼品の増が主な要因となっています。



会計名		令和4年度当初予算(A)	令和3年度当初予算(B)	比較(A)-(B)	伸率(A)-(B)/(B)
一般会計		13,340,000	12,820,000	520,000	4.1
特別会計	国民健康保険特別会計(事業勘定)	2,950,647	2,804,935	145,712	5.2
	後期高齢者医療特別会計	633,680	658,862	△ 25,182	△ 3.8
	農業集落排水事業特別会計	41,044	40,561	483	1.2
	公共下水道事業特別会計	105,897	108,483	△ 2,586	△ 2.4
	漁業集落排水事業特別会計	2,844	2,290	554	24.2
	介護保険特別会計(事業勘定)	2,623,928	2,661,236	△ 37,308	△ 1.4
	市木診療所特別会計	67,992	74,683	△ 6,691	△ 9.0
	小計	6,426,032	6,351,050	74,982	1.2
病院事業会計(収益的支出および資本的支出)		2,558,168	2,345,077	213,091	9.1
水道事業会計(収益的支出および資本的支出)		841,364	808,943	32,421	4.0
合計		23,165,564	22,325,070	840,494	3.8

新 東九州自動車道用地先行取得体制支援事業 6,613 千円 東九州自動車道整備に必要な事業用地の先行取得体制構築に向けた土地開発公社の設置。	新 福島小学校長寿命化改良事業 75,033 千円 福島小学校の長寿命化改良工事に向けた基本設計および実施設計を行う。	新 新消防庁舎整備基本計画策定事業 18,322 千円 串間市事前防災まちづくり構想に基づき、新消防庁舎移転のための基本計画策定を行う。	公営住宅等関連推進事業 34,568 千円 経年劣化している住宅の長寿命化改修工事を行い、安心・安全な住環境の提供を行う。	新 おいでよ！串間市！キャンペーン事業 25,000 千円 旅行者の消費喚起を促し、地域の観光・関連産業に経済効果をもたらすため、宿泊者を対象とした地域クーポン券事業を実施する。	新 キャッシュレス決済推進事業 26,500 千円 新型コロナウイルス感染症により影響を受けた市内消費を喚起するとともに、キャッシュレス決済を推進し、市内事業者に対して「新しい生活様式」への移行を促す。	地域経済活性化プレミアム商品券事業 77,283 千円 新型コロナウイルス感染症により影響を受けた市内消費を喚起するため、串間商工会議所に対してプレミアム商品券発行に係る経費を補助する。	食用かんしょ産地維持緊急対策事業 23,225 千円 サツマイモ基腐病対策の継続支援を行うことにより、農家経営の安定化および産地維持を図る。	新 先進的ゼロカーボン推進事業 4,500 千円 国の脱炭素ロードマップに即した、先進的なゼロカーボンの取り組みを行っている事業者に対する補助を行う。	新 EV等導入促進事業 1,500 千円 移動に伴い排出される二酸化炭素を削減し、ゼロカーボンシティ串間の実現に寄与するEVなどを購入した者への補助を行う。	環境衛生 臨時 10,912 千円 ゼロカーボンシティ串間の実現に向けた指針となる、温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定する。	新型コロナウイルスワクチン接種体制整備事業 29,797 千円 新型コロナウイルス感染症にかかるワクチン接種のために必要な体制整備を行い、ワクチン接種が円滑に進行することを目的とする。	防災対策事業 151,034 千円 防災行政無線操作卓の更新および機能強化などを行い、災害などの未然防止や防災行政に必要な通信体制の強化を図る。	新 100歳健康増進運動検証事業 4,263 千円 本市の豊かな自然環境を生かした健康増進プログラムや新たに芽吹いた価値(地方への関心、健康志向の高まり)を享受できる環境を創造するための調査を行う。
--	--	---	--	--	--	--	---	--	---	---	---	---	--



●問い合わせ先
財務課財政係
☎55-1147

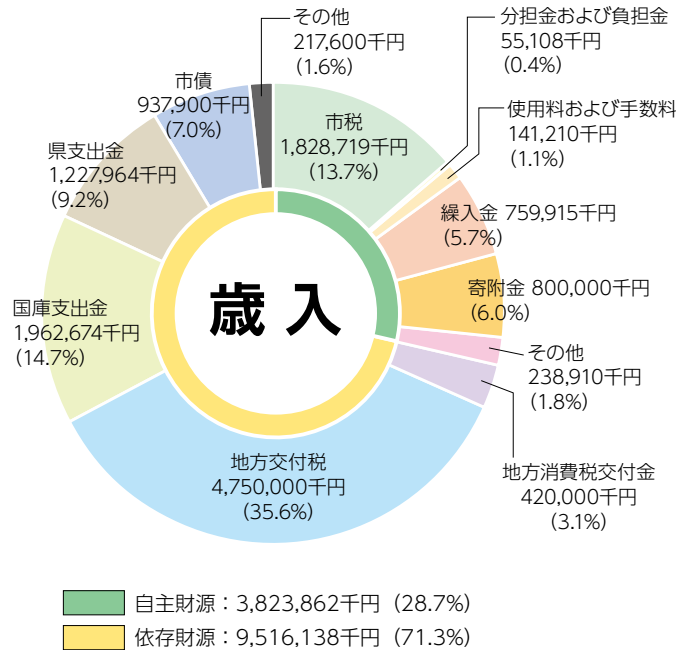
令和4年度 一般会計当初予算総額 133億4千万円

前年度比
4.1%増

令和4年度当初予算が成立しました。その概要と重点施策事業などを紹介します。

歳入 歳入予算の財源構成について、自主財源が対前年度比で4億7、708万5千円、率にして14・3％の増となっています。これは、寄附金が4億円の増となっていることが主な要因となっています。

市においては、今年度の市税の減を考慮し、普通交付税は、対前年度比率で4・0％の増、特別交付税は、1・8％の増となっています。市債については、串間市中心市街地まちづくり事業などの事業費が減となり、対前年度比で2億6、510万円、率にして22・0％の減となっています。



令和4年度 一般会計当初予算概要



※**新**は新規事業